

平成30年4月24日(火)

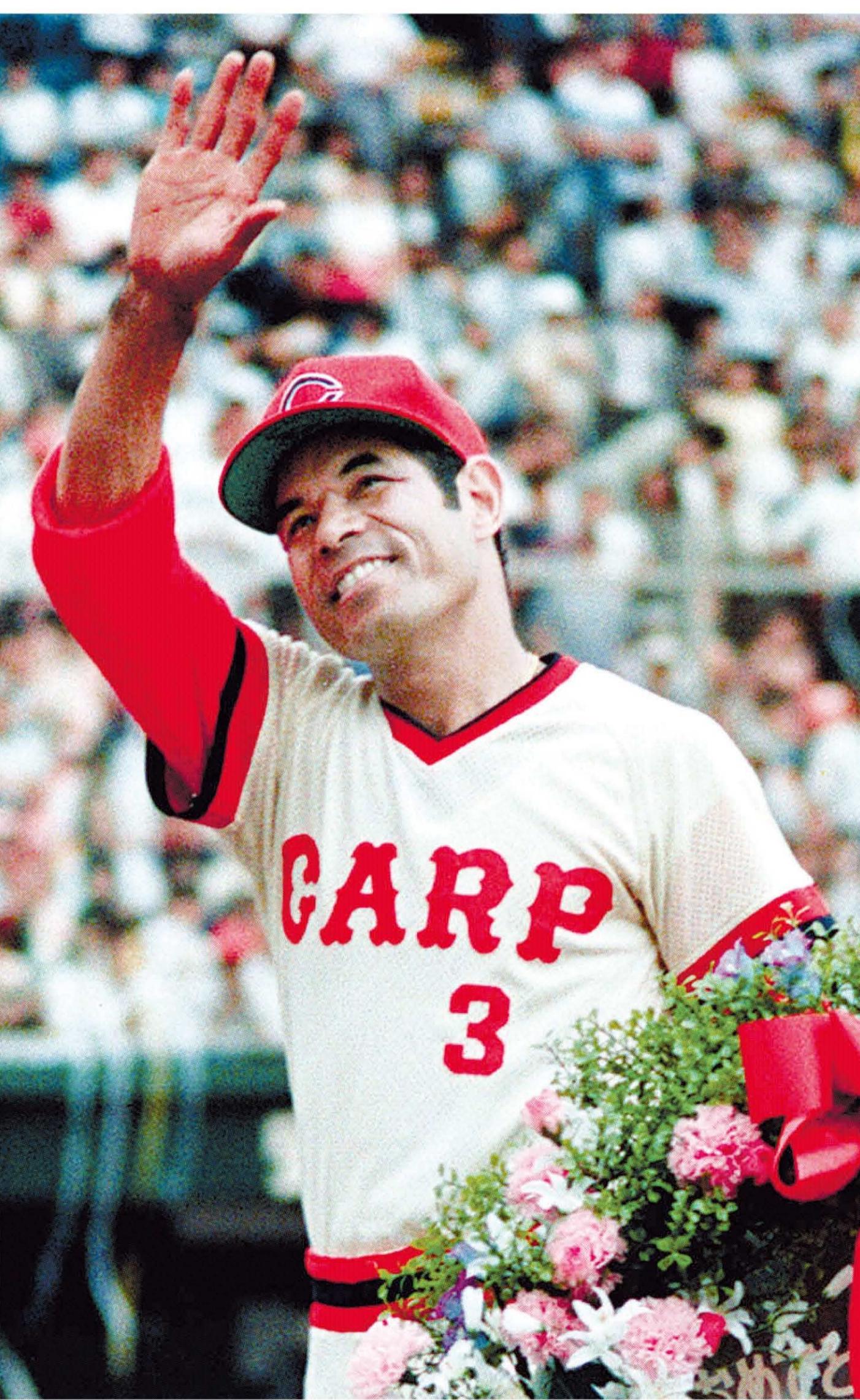
産経新聞

号外

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞大阪本社2018
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)



衣笠祥雄さん死去



当時の連続試合出場の世界記録を達成し、観客の祝福に応える衣笠祥雄氏=昭和62年

プロ野球広島で中軸打者として活躍し、プロ野球記録の2215試合連続出場を樹立して「鉄人」と呼ばれた衣笠祥雄(きぬがさ・さちお)氏が死去したことが24日、分かった。71歳だった。

京都市出身の衣笠氏は京都・平安高(現龍谷大平安高)から昭和40年に広島入り。高校時代は捕手だったが、プロ入り後に内野手に転向し、フルスイングが魅力の強打者として広島一筋で活躍した。

45年から連続試合出場がスタート。死球

を受けて左の肩甲骨を骨折する重傷を負ったが、次の試合も出場を続けた。62年に米大リーグのルー・ゲーリング氏が持つ2130試合連続出場の世界記録(当時)を更新。王貞治氏に次いでプロ野球選手として2人目の国民栄誉賞を授与された。守備が満足にできなくなつたことを理由に同年限りで現役を引退した。

通算成績は2677試合に出場し、歴代5位の2543安打、歴代7位の504本塁打、歴代11位の1448打点、打

「鉄人」連続出場記録 元広島、国民栄誉賞

71 歳

率2割7分。打点王と盗塁王のタイトルを一度ずつ獲得。チームメートの山本浩二氏とともに50年のセ・リーグ初優勝などに貢献し、「赤ヘル旋風」を巻き起こした。現役時代につけていた背番号「3」は広島の永久欠番となっている。

引退後はプロ野球解説者の道に。平成8年に野球殿堂入りした。最近は解説時の声がかかれているなど、健康を不安視する声がインターネット上などで話題となっていた。

産経新聞
購読のお申し込みは ☎ 0120-34-3733

産経ニュース <http://sankei.com>